

アルドステロン/レニン濃度比・活性比 報告内容変更のお知らせ（重要）

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、日本内分泌学会「原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021」に基づき、アルドステロン/レニン濃度比・活性比を CLEIA 法の比での報告に変更します。

なお、当面の間はこれまで通り高血圧治療ガイドライン 2019 掲載の RIA 法相当値に換算した比も併記してご報告いたします。

記

■実施日 令和5年3月31日(金) ご依頼分より

■変更理由

原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021 に準じる
(アルドステロンの方法変更に伴う基準範囲変更による)

■変更内容

総合検査案内 頁	項目コード	検査項目	変更内容	新	現
13	2437-03	アルドステロン 〔CLEIA〕/ レニン濃度比	項目コード	7928-03	2437-03(注2)
			基準範囲	20未満(注1)	40以下(注1)
			備考 報告書	裏面参照	裏面参照
	2438-03	アルドステロン 〔CLEIA〕/ レニン活性比	項目コード	7929-03	2438-03(注2)
			基準範囲	100未満(注1)	200以下(注1)
			備考 報告書	裏面参照	裏面参照

(注1) CLEIA 法と RIA 法換算値では、基準範囲が異なりますのでご留意下さい。

(注2) 現行の項目コードは 3 月 30 日(木)依頼分をもって中止させていただきます。

裏面に続きがあります。

検査項目	変更内容	新	現
アルドステロン [CLEIA]/レニン 濃度比	備考	基準範囲は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。 濃度比のアルドステロンはCLEIA法とRIA法換算値を併記いたします。	基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。 濃度比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。
アルドステロン [CLEIA]/レニン 活性比		基準範囲は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。 活性比のアルドステロンはCLEIA法とRIA法換算値を併記いたします。	基準値は原発性アルドステロン症診断のカットオフ値です。 活性比のアルドステロンはRIA相当値で計算いたします。

■報告書見本

アルドステロン[CLEIA]/レニン濃度比・活性比は「CLEIA 法」と「RIA 法換算値」を併記します。

新

項目名	検査結果	基準範囲	単位
# 7α/レニン活性比			
# アルドステロン[CLEIA]	14.0	4.0 - 82.1	pg/mL
# レニン活性[EIA]	2.0	参考基準値参照	ng/mL/hr
# 7α/レニン活性比	7	100 未満	
# 7α/レニン活性比RIA			
# アルドステロンRIA換算	58.7		pg/mL
# 活性比[RIA換算]	29	200 以下	

【参考基準値】
レニン活性[EIA]
基準範囲 単位: ng/mL/hr
臥位 0.2~2.3
座位 0.2~3.9
立位 0.2~4.1

現

項目名	検査結果	基準範囲	単位
# 7α/レニン活性比			
# アルドステロン[CLEIA]	14.0	4.0 - 82.1	pg/mL
# 7α/ステロンRIA相当	58.7		pg/mL
# レニン活性[EIA]	2.0	参考基準値参照	ng/mL/hr
# 7α/レニン活性比	29	200 以下	
# ACTH[ECLIA]	38.0	参考基準値参照	pg/mL
# コルチゾール血清>	9.17	参考基準値参照	μg/dL
# コルチゾール3分画			
# 7α/レニン	26	100 以下	pg/mL
# 7α/レニン	600 ↑	100 - 450	pg/mL
# 17-OH	27 ↓	20 以下	pg/mL

【コメント】
a: 参考値です。
b: 7α/ステロンをRIA相当値で計算
【参考基準値】

CLEIA 法の濃度比・活性比
(原発性アルドステロン症診療ガイドライン 2021)

項目名	検査結果	基準範囲
# アルド/レニン活性比		
# アルドステロン[CLEIA]	14.0	4.0 - 82.1
# レニン活性[EIA]	2.0	参考基準値参照
# アルド/レニン活性比	7	100 未満
# アルド/レニン活性比RIA		
# アルドステロンRIA換算	58.7	
# 活性比[RIA換算]	29	200 以下

RIA 法換算値の濃度比・活性比
(高血圧治療ガイドライン 2019)

* CLEIA 法と RIA 法換算値では、基準範囲が異なりますのでご留意下さい。